

事務事業チェックシート

事務事業No 606 事業名 こども科学館管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	1	豊かな心を育む教育の推進
取組方針	2	郷土を愛するふるさと教育の推進

事業種別	継続		
事業期間	昭和56年度	～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	学校教育課	東 康修	435-1139
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	こども科学館費		
	大事業 中事業	こども科学館事業 こども科学館管理事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 子供の自然科学に関する興味と認識を深め、個性に応じた能力の伸長と情操豊かで創造的な子供を育成する。		全体事業概要			
	建物管理 来館者が快適に過ごせるように建物を管理する。 入館者管理 入館券、プラネタリウム観覧券の販売、収納金の管理、報告等。 その他 科学館の運営に必要な事務処理等。					
事業内容		平成27年度 こども科学館入館者数 38,013人	平成28年度 こども科学館入館者数 41,040人	平成29年度 こども科学館入館者数 35,870人	平成30年度 こども科学館入館者数 48,000人	平成31年度 こども科学館入館者数 50,000人

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	13,377	17,281	14,130	12,497	13,817	13,533	13,703	7,037	13,703	
伸び率(%)	-	-	5.6%	▲27.7%	▲2.2%	8.3%	▲0.8%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	4,998	4,998	7,497	5,428	7,497	5,693	5,695	5,695	
	正規職員以外	4,478	4,478	3,823	4,085	3,823	5,358	5,358	5,358	
	小計	9,476	9,476	11,320	9,659	11,320	11,051	11,053	11,053	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	7,982	6,792	7,529	8,627	7,529	7,156	7,156	7,156	7,156	
一般財源(税等)	5,395	10,489	6,601	3,870	6,288	6,377	6,377	6,377	6,377	
所要人数(人)	正規職員	0.67	0.67	1.01	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71	
	正規職員以外	2.00	1.90	1.67	1.87	1.87	2.01	2.01	2.01	
主な予算内訳	光熱水費5,569千円、管理委託料6,777千円(平成29年度当初)									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 開館率 (開館日数/開館可能日数)	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 こども科学館入館者数	人	目標値	40,000	40,000	45,000	48,000	50,000
		実績値	38,013	41,040	35,870		
		達成度(%)	95.0%	100.1%	79.7%		
		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	科学をとおして子供の健全育成を目標とするこども科学館は、科学や理科に関し、特に興味や関心を高めるための教育の拠点として市民等のニーズがあり、和歌山市に必要な施設である。
見直し・改善内容	平成29年度、老朽化した2階展示室を、系統的に物理の概念が習得できるような操作体験型の展示物群に改修した。また、老朽化したエレベーターの改修、和式トイレの洋式化など施設の改修を行った。 平成30年度には、プラネタリウムの改修を行う予定である。